



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 大
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06(6306)4121
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,028	0.7	130	29.9	104	△10.0	△128	—
24年3月期第3四半期	7,974	△31.0	100	△77.5	115	△74.0	949	419.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △143百万円(-%) 24年3月期第3四半期 939百万円(778.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△14.03	—
24年3月期第3四半期	103.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,218	7,880	70.0
24年3月期	11,413	8,115	70.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,851百万円 24年3月期 8,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	10.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	△1.5	70	75.0	60	3.4	△180	—	△19.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	9,382,943株	24年3月期	9,382,943株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	223,613株	24年3月期	223,613株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	9,159,330株	24年3月期3Q	9,160,354株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・ この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として、緩やかに回復しつつあるものの、円高の影響や欧州・中国等の対外経済環境を巡る不確実性は高く、デフレの影響など、景気は依然先行きに不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは平成23年3月末に納豆事業から撤退し、前連結会計年度から凍豆腐、加工食品などのコア事業へ経営資源を集中投資してまいりました。当第3四半期連結累計期間については、販売価格の下落が継続する中、重油やLPガス等の燃料の高騰や、主要原料の大豆価格の高止まりを受け厳しい経営環境が継続しております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は最需要期の冬場を迎え80億2千8百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、新たな付加価値をつけた「ダイエットこうや」のアイテムアップを行い、また、ベストセラーになった書籍にも紹介され追い風を受けたものの販売価格の下落があり前年同四半期をクリア出来ず、売上高は32億2千7百万円（前年同四半期比1.8%減）と減少いたしました。加工食品においては、既存の袋入りが販売競争の激化などにより売上を落とすこととなりましたが、カップ入りタイプの販売が冬場を迎え好調に推移し、新規の 카테고리 製品として前連結会計年度末に発売した「浅漬けの素」が純増いたしました結果、売上高は35億5千2百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

利益面では、固定費の削減等もあり営業利益1億3千万円（前年同四半期比29.9%増）、経常利益は休止固定資産の維持管理費用があり1億4百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。また、稼働を休止し有効活用を検討しておりました小野工場を、平成24年12月に売却したことにより特別損失に固定資産売却損として1億7千1百万円を計上いたしました。これにより四半期純損失は1億2千8百万円（前年同四半期は9億4千9百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ1億9千4百万円減少し、112億1千8百万円（前連結会計年度末比1.7%減）となりました。総資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加9億4千4百万円があったものの、現金及び預金の減少6億4千1百万円や小野工場売却や減価償却などによる有形固定資産の減少5億4千1百万円があったことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ3千9百万円増加し、33億3千8百万円（前連結会計年度末比1.2%増）となりました。負債の増加の主な要因は、賞与引当金の減少3千1百万円、退職給付引当金の減少5千1百万円などがあったものの、支払手形及び買掛金の増加1億8千4百万円、未払金の増加4千5百万円などがあったことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ2億3千4百万円減少し、78億8千万円（前連結会計年度末比2.9%減）となりました。これは当第3四半期純損失1億2千8百万円の計上や剰余金の配当9千1百万円を行ったことなどによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ0.9ポイント減少し70.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成24年12月21日に公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,552,641	1,911,472
受取手形及び売掛金	2,437,071	3,381,841
たな卸資産	1,029,560	1,120,585
繰延税金資産	1,269	980
その他	124,762	145,302
貸倒引当金	△1,400	△1,800
流動資産合計	6,143,905	6,558,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,961,191	5,559,103
減価償却累計額	△5,271,980	△4,184,177
建物及び構築物（純額）	1,689,211	1,374,925
機械装置及び運搬具	8,328,128	7,217,661
減価償却累計額	△7,373,894	△6,287,295
機械装置及び運搬具（純額）	954,233	930,366
土地	1,781,439	1,589,530
リース資産	70,520	70,520
減価償却累計額	△40,079	△49,452
リース資産（純額）	30,440	21,067
建設仮勘定	182	8,911
その他	434,638	436,609
減価償却累計額	△346,331	△359,164
その他（純額）	88,307	77,444
有形固定資産合計	4,543,813	4,002,245
無形固定資産		
投資その他の資産	230,529	169,040
投資有価証券	406,321	387,682
その他	89,263	101,500
貸倒引当金	△327	△327
投資その他の資産合計	495,257	488,854
固定資産合計	5,269,600	4,660,140
資産合計	11,413,505	11,218,522

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	986,876	1,171,181
短期借入金	328,060	332,500
リース債務	13,121	10,075
未払金	776,007	821,816
未払法人税等	17,590	13,859
賞与引当金	41,574	10,561
設備関係支払手形	59,350	23,029
その他	224,827	176,992
流動負債合計	2,447,408	2,560,017
固定負債		
リース債務	18,840	12,045
繰延税金負債	153,826	145,148
退職給付引当金	617,377	566,275
資産除去債務	51,739	46,553
その他	9,192	8,100
固定負債合計	850,976	778,122
負債合計	3,298,384	3,338,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,879,861	4,659,735
自己株式	△126,557	△126,557
株主資本合計	8,003,571	7,783,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,555	91,909
為替換算調整勘定	△22,042	△24,028
その他の包括利益累計額合計	83,513	67,881
少数株主持分	28,035	29,054
純資産合計	8,115,120	7,880,381
負債純資産合計	11,413,505	11,218,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,974,051	8,028,061
売上原価	5,920,936	6,051,055
売上総利益	2,053,114	1,977,006
販売費及び一般管理費	1,952,895	1,846,779
営業利益	100,219	130,226
営業外収益		
受取利息	1,391	2,524
受取配当金	7,110	6,743
受取賃貸料	126,273	1,067
受取保険金	1,537	1,462
受取技術料	5,700	1,292
為替差益	2,837	—
雑収入	11,206	10,202
営業外収益合計	156,057	23,292
営業外費用		
支払利息	10,467	2,614
賃貸収入原価	129,654	202
為替差損	—	1,746
休止固定資産維持費用	—	44,443
雑損失	226	150
営業外費用合計	140,348	49,156
経常利益	115,928	104,362
特別利益		
固定資産売却益	22,037	3,972
投資有価証券売却益	184	—
営業権及び商標権の売却益	1,400,000	—
資産除去債務履行差額	9,926	—
特別利益合計	1,432,148	3,972
特別損失		
固定資産除却損	14,321	9,575
固定資産売却損	3,296	171,778
減損損失	—	26,466
関係会社出資金売却損	16,107	—
特別損失合計	33,725	207,820
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,514,351	△99,485
法人税、住民税及び事業税	8,377	27,760
法人税等調整額	557,941	47
法人税等合計	566,318	27,807
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	948,032	△127,292
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,616	1,239
四半期純利益又は四半期純損失(△)	949,648	△128,532

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	948,032	△127,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,693	△13,645
為替換算調整勘定	△6,727	△2,207
その他の包括利益合計	△8,420	△15,852
四半期包括利益	939,611	△143,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	941,900	△144,164
少数株主に係る四半期包括利益	△2,288	1,018

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	7,955,941	7,955,941	18,109	7,974,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	629	629	—	629
計	7,956,571	7,956,571	18,109	7,974,681
セグメント利益	1,118,715	1,118,715	10,023	1,128,738

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,118,715
「その他」の区分の利益	10,023
セグメント間取引消去	△629
全社費用(注)	△1,027,889
四半期連結損益計算書の営業利益	100,219

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

食料品事業セグメントの主要製品のうち、納豆については、平成23年3月末をもって撤退いたしました。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	8,005,725	8,005,725	22,336	8,028,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	538	538	—	538
計	8,006,264	8,006,264	22,336	8,028,600
セグメント利益	1,055,545	1,055,545	16,138	1,071,684

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,055,545
「その他」の区分の利益	16,138
セグメント間取引消去	△538
全社費用(注)	△940,918
四半期連結損益計算書の営業利益	130,226

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、26,466千円の減損損失を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。